



---

# 第3回

# 豊見城市上下水道事業審議会

---

～下水道使用料の水準検討について～

20230822

# 県内11市と経営指標の比較（令和3年度下水道事業会計決算経営比較分析表より）

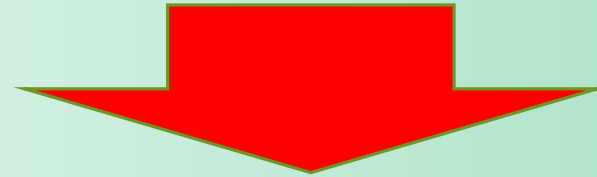
		単位	11市平均	豊見城市	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	うるま市	宮古島市	南城市
1	下水道普及率	%	68.0	79.29	98.28	95.94	31.71	97.12	69.24	69.59	97.37	67.34	15.35	26.84
				5位	1位	4位	9位	3位	7位	6位	2位	8位	11位	10位
2	下水道処理区域内人口	人	83,464.0	52,007	311,725	95,843	15,480	111,800	44,068	43,236	138,765	84,554	8,406	12,220
				6位	1位	4位	9位	3位	7位	8位	2位	5位	11位	10位
3	下水道処理区域内面積	人/km <sup>2</sup>	13.1	5.64	35.19	18.07	2.47	15.94	7.38	7.54	27.61	19.84	1.94	2.31
				8位	1位	4位	9位	5位	7位	6位	2位	3位	11位	10位
4	下水道処理区域内人口密度	人	6,116.4	9,221.1	8,858.3	5,304.0	6,267.2	7,013.8	5,971.3	5,734.2	5,025.9	4,261.8	4,333.0	5,290.0
				1位	2位	7位	4位	3位	5位	6位	9位	11位	10位	8位
5	経常収支比率	%	112.2	99.46	99.95	111.85	148.64	103.18	108.27	106.02	100.6	105.8	116.67	133.37
				11位	10位	4位	1位	8位	5位	6位	9位	7位	3位	2位
6	企業債残高対事業規模比率	%	1,267.4	955.55	169.53	470.27	4431.89	381.59	1082.24	949.88	428.85	888.04	0	4183.96
				4位	10位	7位	1位	9位	3位	5位	8位	6位	11位	2位
7	経費回収率	%	67.4	64.07	90.49	99.51	35.24	93.59	66.25	59.44	70.28	58.68	53.7	50.39
				6位	3位	1位	11位	2位	5位	7位	4位	8位	9位	10位
8	汚水処理原価	円	138.6	121.09	99.42	92.19	246.24	87.71	129.24	150	109.98	150	188.56	150
				7位	9位	10位	1位	11位	6位	3位	8位	3位	2位	3位
9	汚水処理費	千円	946,941.8	499,391	3,356,734	852,731	282,979	1,058,108	540,596	627,144	1,628,000	1,184,751	270,320	115,606
				8位	1位	5位	9位	4位	7位	6位	2位	3位	10位	11位
10	有収水量	m <sup>3</sup>	8,510,881.9	4,124,215	33,762,988	9,249,982	1,149,222	12,064,056	4,182,855	4,180,959	14,802,770	7,898,338	1,433,612	770,704
				8位	1位	4位	10位	3位	6位	7位	2位	5位	9位	11位
11	水洗化率	%	83.5	81.23	96.64	84.5	64.06	94.98	88.28	85.14	89	81.36	85.33	68.04
				9位	1位	7位	11位	2位	4位	6位	3位	8位	5位	10位

\* 数値は、令和3年度決算経営比較分析表より抜粋。汚水処理費、有収水量は総務省地方公営企業年鑑より抜粋。

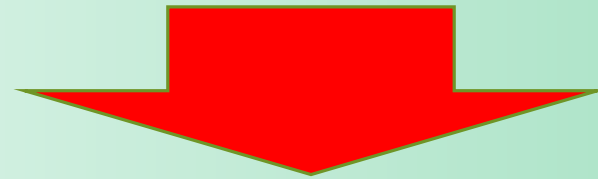
豊見城市の下水道事業の人口密度は、11市中一番高水準ですが、水洗化率は9位と下水道に接続している割合が低いです。経常収支比率については、11市中最低位となり、経営改善の取組が必要です。企業債残高対事業規模比率は、料金収入に対する企業債残高の割合で、11市中4位となっており、全国平均や類似団体平均と比較しても大きく上回っています。経費回収率は、使用料でどの程度経費を賄えているのかを示す指標で、100%以上である必要がある中、本市は6位の64.07%となっています。汚水処理原価、汚水処理費、有収水量ともに低水準に位置し、投資の効率化や施設維持管理費の削減、接続率の向上などの取り組みによる経営改善が必要です。

# 豊見城市下水道使用料改定に向けた具体的な目標の設定

## 下水道使用料水準の目標設定



- ①適正な費用負担の観点から、補填収入（水道事業からの借入金）の解消・減少。
- ②多くの市民の経済動向を踏まえた節水行動や節水型家庭用品の普及等の節水型社会への移行に合わせた料金体系の構築を目指す。



・直近過去2年度の借入額“1億円”の増収を目標とすることで、水道事業からの借入金の解消・減少を目指し、平成17年の料金改定以来の料金体系についても社会経済情勢や節水型社会に合わせた体系を検討。

## 仮に1億円増収した場合の経営指標の動向は！？

### ①経常収支比率:99.46(11位/11市中)

・料金収入などの経常的な収益で、維持管理経費や支払利息などの費用をどの程度、賄えているのかを表す指標。単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要。

令和3年度決算

$$\text{経常収益/経常費用} \times 100 = 892,719 \text{千円} / 897,596 \text{千円} = 99.45$$

→1億円増収すると、 $\text{経常収益/経常費用} \times 100 = 892,719 \text{千円} + 100,000 / 897,596 \text{千円} = 110.59$

11.14ポイント上昇 5位/11市中となる。

\*経常収益:決算資料20表1列+15列、経常費用:21表58列

### ②経費回収率:64.07(6位/11市中)

・汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す。当該指標は、汚水処理に要する経費について、使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが必要。

令和3年度決算

$$\text{下水道使用料/汚水処理費} \times 100 = 319,977 \text{千円} / 499,391 \text{千円} = 64.07$$

→1億円増収すると、 $\text{下水道使用料/汚水処理費} \times 100 = 319,977 \text{千円} + 100,000 / 499,391 \text{千円} = 84.09$

20.02ポイント上昇 4位/11市中となる。

\*下水道使用料:21表3列、汚水処理費:32表16列

# 直近過去3年度の豊見城市下水道事業の使用水量分布について

下水道使用水量(m <sup>3</sup> )	件数 (円、全体に占める割合)						金額 (円、全体に占める割合)					
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
0	5,041	2.7%	5,666	3.0%	5,557	2.9%	2,489,760	0.8%	2,825,680	0.9%	2,753,660	0.8%
1	3,479	1.9%	3,721	1.9%	3,889	2.0%	1,665,300	0.5%	1,788,280	0.5%	1,883,440	0.6%
2	3,072	1.6%	3,472	1.8%	3,634	1.9%	1,513,200	0.5%	1,724,060	0.5%	1,804,660	0.5%
3	3,872	2.1%	4,065	2.1%	4,389	2.3%	1,968,720	0.6%	2,068,300	0.6%	2,226,380	0.7%
4	4,654	2.5%	5,046	2.6%	5,503	2.8%	2,381,340	0.7%	2,575,560	0.8%	2,817,880	0.9%
5	5,230	2.8%	5,615	2.9%	6,150	3.2%	2,681,900	0.8%	2,877,680	0.9%	3,158,480	1.0%
6	5,806	3.1%	6,251	3.3%	6,508	3.4%	3,019,120	0.9%	3,250,520	1.0%	3,384,160	1.0%
7	5,967	3.2%	6,153	3.2%	6,710	3.5%	3,102,840	1.0%	3,199,560	1.0%	3,489,200	1.1%
8	6,221	3.3%	6,497	3.4%	6,831	3.5%	3,234,920	1.0%	3,378,440	1.0%	3,552,120	1.1%
9	6,153	3.3%	6,218	3.3%	6,551	3.4%	3,199,560	1.0%	3,233,360	1.0%	3,406,520	1.0%
10	6,062	3.2%	6,441	3.4%	6,701	3.5%	3,152,240	1.0%	3,349,320	1.0%	3,484,520	1.1%
0-10小計	55,557	29.8%	59,145	30.9%	62,423	32.3%	28,408,900	8.8%	30,270,760	9.2%	31,961,020	9.7%
11-20	62,629	33.6%	64,255	33.6%	65,736	34.0%	56,412,790	17.4%	57,588,990	17.6%	58,809,000	17.9%
21-30	40,139	21.5%	39,932	20.9%	39,015	20.2%	62,656,400	19.3%	62,287,100	19.0%	60,847,970	18.5%
31-40	15,848	8.5%	15,575	8.1%	14,589	7.5%	36,380,480	11.2%	35,725,440	10.9%	33,402,640	10.2%
41-50	5,853	3.1%	5,570	2.9%	5,078	2.6%	18,121,040	5.6%	17,230,240	5.3%	15,718,960	4.8%
51-60	2,006	1.1%	2,050	1.1%	1,868	1.0%	8,019,220	2.5%	8,204,900	2.5%	7,470,860	2.3%
61-70	831	0.4%	787	0.4%	785	0.4%	4,151,220	1.3%	3,941,040	1.2%	3,922,000	1.2%
71-80	386	0.2%	423	0.2%	381	0.2%	2,316,920	0.7%	2,535,060	0.8%	2,296,620	0.7%
81-90	257	0.1%	245	0.1%	292	0.2%	1,812,540	0.6%	1,721,400	0.5%	2,072,440	0.6%
91-100	249	0.1%	232	0.1%	253	0.1%	2,008,680	0.6%	1,871,440	0.6%	2,037,160	0.6%
101-150	882	0.5%	951	0.5%	1,012	0.5%	10,110,000	3.1%	10,941,600	3.3%	11,599,440	3.5%
151-200	687	0.4%	690	0.4%	628	0.3%	11,934,720	3.7%	12,081,240	3.7%	10,950,980	3.3%
201-250	411	0.2%	415	0.2%	483	0.2%	9,601,320	3.0%	9,678,960	3.0%	11,168,280	3.4%
251-300	241	0.1%	220	0.1%	208	0.1%	7,062,360	2.2%	6,413,400	2.0%	6,086,760	1.9%
301-350	157	0.1%	185	0.1%	175	0.1%	5,638,370	1.7%	6,684,070	2.0%	6,307,975	1.9%
351-400	82	0.0%	102	0.1%	102	0.1%	3,559,985	1.1%	4,422,375	1.3%	4,390,910	1.3%
401-450	117	0.1%	89	0.0%	63	0.0%	5,922,275	1.8%	4,503,200	1.4%	3,194,115	1.0%
451-500	76	0.0%	79	0.0%	71	0.0%	4,372,905	1.3%	4,569,790	1.4%	4,096,045	1.2%
501-	251	0.1%	258	0.1%	294	0.2%	46,069,720	14.2%	47,253,210	14.4%	52,188,330	15.9%
計	186,659	100.0%	191,203	100.0%	193,456	100.0%	324,559,845	100.0%	327,924,215	100.0%	328,521,505	100.0%

直近過去3年度の下水道使用水量の分布については、**10m<sup>3</sup>未満の基本料金内の水量の件数が全体の3割に達し、節水型社会の本格的な移行に伴い、年々割合が増加している。**

また、標準家庭(4人家庭:20m<sup>3</sup>/月)を含む、**40m<sup>3</sup>未満の下水道使用水量の件数が全体の9割を超えている。**反面、大口といわれる100m<sup>3</sup>以上の件数は全体の1.6%程度の件数となっており、500m<sup>3</sup>以上の大口については、0.1%程度となっている。

料金の内訳においては、**10m<sup>3</sup>未満の基本料金内の水量については、全体の1割未満。**

また、標準家庭(4人家庭:20m<sup>3</sup>/月)を含む、**40m<sup>3</sup>未満の下水道使用水量については、約56%程度。**

大口の料金分布を見てみると、**100m<sup>3</sup>以上は全体の34%程度**となっており、500m<sup>3</sup>以上の大口については、約15%程度となっている。

	(単位:世帯・人・件・m <sup>3</sup> )					
年度末人口	世帯数	人口	接続件数	接続人口	水洗化率	年間汚水量
令和2年度	27,339	65,644	15,813	43,539	89.89%	4,210,280
令和3年度	27,628	65,594	16,054	43,641	80.95%	4,236,120
令和4年度	28,050	65,690	16,210	44,827	88.26%	4,214,347